

施策マネジメントシート

施策名	行政評価	水とみどりをはぐくむまち	施策統括課	環境政策課	氏名	町田孝弘
政策名	施策体系	まちをつくる	施策関係課	道路下水道課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

- 市内全域
- 公共用水域

意図(対象をどう変えるのか)

- みどり豊かなまちになる
- 水量及び水質を向上する

対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 市内面積	km ²
イ 公共用水域	km
ウ	
エ	

成果指標(意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア みどりが多いまちだと感じる市民の割合	%
イ 湧水の測定地点における水質基準(環境基準)達成率	%
ウ	
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
みどりの確保	屋上緑化・緑のカーテンなど、公共施設の緑化を行うとともに、民間の建物でも進めていきます。民有地の緑化の推進を図ります。青柳崖線や城山公園等の地域の自然と歴史を受け継ぎ、みどりを保全します。農地保全の取組みを進めます。
水量の確保	雨水浸透ますの設置促進等により、地下水の保全(雨水浸透の促進)を行います。
水質の維持	水質の調査・監視を行い、現在の水質基準を維持します。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア km ²	見込み値						8.15	8.15	8.15	8.15	
		実績値	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15				
	イ km	見込み値			30	30						
		実績値	30	30	30	30	30	30				
成果指標	ア %	成り行き値				36.2	34.2	32.2	30.2	28.2	26.2	
		目標値				41.0	43.8	46.6	49.4	52.2	55.0	
		実績値	52.5		38.2	44.9	47.8	48.9				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			第1回国立市市民意識調査においては、52.5%の市民が「みどりが多いまちだと感じる」と回答していることから、この水準を上回ることを目指し、目標値を設定しました。								
	イ %	成り行き値				100	100	100	100	100	100	100
		目標値				100	100	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100	100	100	100				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			現状値として達成率が100%であるため、その状態を維持することを目標としました。								
	ウ	成り行き値										
		目標値										
		実績値										
	基本計画における施策の目標設定の根拠											
エ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
基本計画における施策の目標設定の根拠												
オ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
基本計画における施策の目標設定の根拠												
事務事業数		本数	13	13	13	13	13	12				
施策コスト	事業費	国庫支出金	千円					0				
		都道府県支出金	千円		17,580		2,339	2,379	310			
		地方債	千円					0				
		その他	千円				1,593	1,589				
		一般財源	千円	165,179	160,556	135,819	121,450	119,745	116,499			
		事業費計(A)	千円	165,179	178,136	135,819	125,382	123,713	116,809	0	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	9,385	9,278	11,490	14,990	13,160	12,200				
	人件費計(B)	千円	46,925	46,390	57,450	70,150	61,000	58,000				
トータルコスト(A)+(B)		千円	212,104	224,526	193,269	195,532	184,713	174,809	0	0	0	

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

みどりは、身近な自然とのふれあいや安らぎ、冷涼な空気を生み出す憩いの場の提供等、市民生活にとって不可欠なものであり、また、環境保全、防災、レクリエーション、都市景観等の面でも重要な役割を担っています。市では、公共施設に対する緑化の取組みをはじめたものの、近隣市と同様、都市化の進行により、農地を含む市内の緑地面積は減少傾向にあります。こうした状況を真摯に受け止め、また、既存のみどりへの取組みを自治体共通の課題としてとらえることとし、平成22年5月に東京都・区・市町村間で緑確保の総合的な方針が策定されました。これを受け、具体的な施策として、平成24年3月に崖線の保全に向けてのガイドラインが策定され、それに基づき、崖線の保全に努めていくこととなる。湧水については、冬期を中心として水量の低下がみられるため、今後も引き続き雨水浸透ますに代表される地下水の水量を確保する取組みが求められます。水質については、水質基準を達成していますが、今後も引き続き維持していく必要があります。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

大学通りの緑地帯のあり方や府中用水を環境型水路としての位置づけ、崖線の樹木の保全など。いっぽう、崖線などの樹木に対する近隣住民からの各種苦情も多くなってきている。水田農家の減少により、水路の維持管理が行き届かないことによる苦情が市に寄せられている。

5 24年度の評価結果

(1) 24年度行政経営方針の取組状況

24年度行政経営方針	取組状況
都市化の進行により、農地を含む市内の緑地面積は減少傾向が続いている。国立市の財産である水環境の保全とみどりの確保に向け、緑の基本計画の緑化重点地区への対応をしっかりと進めていく。特に、自然が多く残された南部地域については、訪れる人にとっては景観にも優れた癒しの地として語られるが、地元の人々にとっては生産の場であり生活の場でもある。このような南部地域の特性を十分考慮して保全に向けて取り組んでいくのが、今後の行政の課題である。また、崖線については、取得に向けての働きかけや適切な管理を行うとともに、城山周辺の水環境を取り戻し、市民全体の憩いの場として整備する。民有地のみどりの維持・保全とともに、公共の場の緑化等も行っていく。	城山南土地区画整理事業により新たに設置される公園を含めた城山公園及び体験水田などを対象に、庁内での各種事業の実施のコーディネートや、今後の維持管理などについて市民の協力を得ながら進めていくことなどを定めた「城山の里山づくり基本方針」を策定した。崖線の保全については、東京都と関連市とで協議会を平成22年に設立し、平成23年に策定した崖線の保全に向けてのガイドラインに基づき、講演会やウォーキングラリーなどを共同で実施した。民有地のみどりについては、生垣助成、ガーデン講習会などを行い、緑の創設への取組みを行った。また、公共施設での緑のカーテンなどについては、継続して行っている。平成24年度に雨水浸透ますが796基設置された。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア 「みどりが多いまちだと感じる市民の割合」

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標イ 「湧水の測定地点における水質基準(環境基準)達成率」

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標ウ

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標エ

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標オ

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

他自治体との成果の比較 A(かなり高い) ~ E(かなり低い)

D:他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である

背景として考えられること

ア 以前に比べ「市民による公園等の管理運営事業」や「生垣新設助成事業」の成果などにより、市民の緑に対する意識も上がってきたと考えられる。

イ 引き続き達成した。

他自治体と比べ、一人当たりの公園面積が少ない。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

「みどりが多いと感じる市民の割合」は平成23年度に比べ1.1ポイント増加し、平成24年度目標値を達成した。また、湧水の水質についても引き続き基準を達成した。このことは、「市民による公園等の管理運営事業」が活発となったこと、「生垣新設助成」を行うなど着々と市内のみどりが増加していること、雨水浸透ますが確実に増加していることなどの成果と考えられる。

6 施策の課題・今後の方向性

崖線公有地化を推進していくことが課題である。「市民による公園等の管理運営事業」をさらに進めていく。「城山の里山づくり基本方針」に基づき、各種事業を進めていく。